

公益社団法人 日本鑄造工学会

「平成 30 年 生型研究部会シンポジウム」のご案内

主催 公益社団法人 日本鑄造工学会

生型研究部会 部会長 前田 安郭

近年、グローバルな経営環境から海外生産の比率が高まるなか、国内における鑄造産業はその競争力を高めるため、鑄物製品の高品質・高付加価値化や生産効率の向上および低コスト化への適応が求められている。このような状況下、生型研究部会では、「生型管理技術の再構築Ⅱ」をテーマに活動を行ってきた。

今回、生型造型法における基本技術である“生型管理技術”という切り口から、造型技術・砂処理技術・管理技術・ライン操業方法・試験評価技術・材料・等を幅広く取り上げながら、現在の技術水準を明確にするとともに再構築を目指し活動してきた成果を広くお知らせするため、発表の場を設定しましたので、多くの方々のご参加をお待ち申し上げます。

記

日 時 : 平成 30 年 11 月 16 日 (金) 10 : 30～17:00

場 所 : ミッドランドスクエア 会議室 A

〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅 4 丁目 7-1

参加費 : 日本鑄造工学会会員 13,000 円, 学生 1,000 円, 非会員 26,000 円

募集人員 : 定員 80 名 (定員になり次第締め切り)

参加申込 : 平成 30 年 11 月 9 日 (金) までに、日本鑄造工学会学会ホームページ (<http://jfs.or.jp>) の「シンポジウム申込フォーム」からお申込みください。

[事前お問い合わせ先] 〒105-0012 東京都港区芝大門 1-10-1

(公社) 日本鑄造工学会 事務局

TEL03-6809-2303, FAX03-6809-2330, e-mail : jfes@jfs.or.jp

=プログラム=

10:30～10:35	開会の挨拶	
10:35～11:30	生型とベントナイトの特性	元)北海道大学 鈴木啓三
11:25～14:30	＜砂管理の現状と課題，各社の最新取り組み事例＞	
	JFE 継手(株)	落合秀樹
11:50～12:50	昼休憩	
12:50～14:30	福島製鋼(株)	遠藤裕太
	(株)コヤマ	田中直也
	中央可鍛工業(株)	樋口 茂
	(株)クボタ	松本圭司
	コマツキャステックス(株)	西野 剛
14:30～14:45	休憩	
14:45～16:50	＜新しい管理技術へ向けての基礎技術＞	
	「高温鋳物砂への散水における冷却挙動」	(大同大学) 前田安郭
	「生型砂のリートベルト解析」	(株)ツチヨシ産業) 黒川 豊
	「生砂処理設備でのセンシングによる砂性状の見える化とコントロール」	(新東工業(株)) 小倉裕一
	「鋳物砂性状自動測定装置の開発」	KANAMORI SYSTEM Inc. 林正憲
	「青銅の生型鋳造における鋳型内温度・ガス圧の同時測定」	(関西大学) 丸山 徹
16:50～17:00	閉会の挨拶	